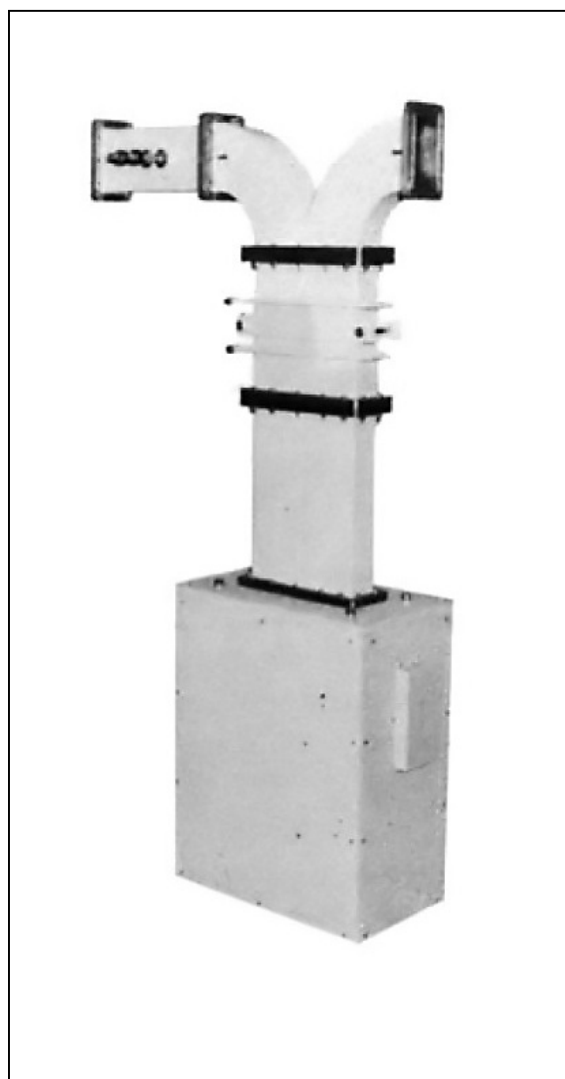
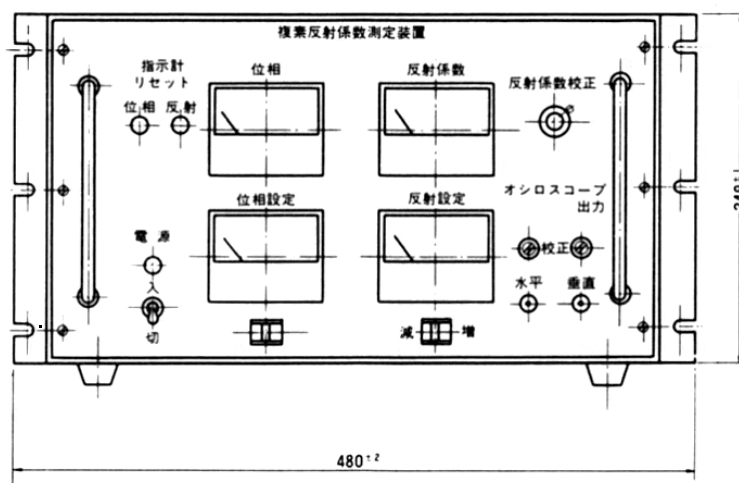


複素反射係数測定装置



本器は4プローブ法により、マイクロ波大電力伝送線路の負荷インピーダンスを、反射係数(Γ)と移相量(θ)に分離して測定し、計器に指示させます。また、オシロスコープと組み合わせることにより、CRT上でインピーダンスを観測できます。なお、本器には電動式の定在波発生器が組み込まれていますので、 Γ 、 θ の指示計を見ながら容易に負荷インピーダンスとの整合が可能です。本器は4プローブ結合器、定在波発生器および計測部より成り立っています。



周波数範囲	2000±10MHz
許容電力	1.4MW(10秒間)
VSWR	1.1~40全移相設定可能
Γ	測定範囲0.05~0.95
θ	-180° ~ 0 ~ +180°
オシロスコープ出力	X、Y
定在波発生器位置目盛	プランジャーの位置を計器にて表示(Γ 、 θ)
使用導波管	WR-510
電源電圧	AC100V